

単元・題材・資料名		わたしはトラベルコーディネーター	
目標・ねらい		【知識・技能】 ・日光という場所の特色が分かり、日本の歴史や文化、自然に対する興味を高める。	
		【思考力・判断力・表現力等】 ・自ら興味・関心を持って主体的に課題を設定し、それらを解決する。 ・自らの課題解決に向け、必要な情報を取捨選択し、伝わりやすいよう工夫してパンフレットを作る。	
		【学びに向かう力・人間性等】 ・修学旅行に対して意欲を高め、自主的に取り組む。	
実施月	4～7月	総時間数	24時間
内容・活動・★留意点		時数	(観 点) 評価規準【評価方法】 ☆ICT機器の活用 ◎学校応援団との関連
気づく	○修学旅行の目的地である日光について知る。 ・日光の場所 ・主な見学場所（東照宮・中禅寺湖・戦場ヶ原など）	1	☆大型モニタ・スライド (主体的に学習に取り組む態度) 修学旅行に対して意欲を高め、自主的に取り組もうとしている。 【観察】
	○学習課題をもつ。 ・なぜ日光には、多くの観光客（外国からの観光客も含む）が集まるのか考える。 ・自分が興味関心をもったことを課題としていく。 ★見学場所だけでなく、歴史や文化などに広げてよい。 ○学習計画を立てる。 ・時間数、調べる方法、まとめ方など、大まかな計画を立てる。	2	(思考・判断・表現) 学習を進める中で、自分の興味があるもの、もっと深く調べてみたいことを決め、課題を設定している。 【ワークシート・観察】
つかむ	○情報モラルについて学習する。 ・「情報発信の責任」 A-05 個人情報をおたさない B-24 写真の投稿 ・「情報通信ネットワーク」 G-04 情報通信ネットワーク	2	(知識・技能) 情報には自他の権利があることを理解し、尊重するとともに、他人や社会への影響を考え行動しようとしている。 【ワークシート・発言】 ネットワークは世界共有のものであるという意識をもっている。 【ワークシート・発言】 ☆タブレット
	○自分の課題について、資料を集め、調べ学習をする。	5	(知識・技能) 必要な情報を取捨選択し、伝わりやすいよう工夫してパンフレットを作っている。 【パンフレット】
	○集めた情報を取捨選択しながら、パンフレットを作成する。 ★国語の学習と関連させ、パンフレットのレイアウト、写真やイラストの効果的な活用などを考え、作成させる。	5	☆インターネット
深める			

広げる	○完成したパンフレットを友達と見合い、情報交換する。 ○修学旅行後、実際に見学したことで、新しく分かったことをまとめ、発表する。	1 3	(知識・理解) 日光という場所の特色が分かり、日本の歴史や文化、自然に対する興味を高めている。 【ワークシート】
	○タイピング(様々な活動の中で継続して指導する。) ○「動かしてみよう」・マイクロビット・センサーを使って、ロボットやマイクロビットにプログラミングする。	1 4	(知識・技能) 様々なセンサーの役割を知り、ものの動きから、プログラムを想像したり、そのプログラムを構築したりしている。 【タブレット・ロボット】

単元・題材・資料名	ともに生きる～ユニバーサルデザイン～		
目標・ねらい	【知識・技能】 ・ユニバーサルデザインがあらゆる人にとって快適に暮らせる物であるということが分かる。 ・意図や目的を明確にしながらデザインを考え、ものづくりの計画を立てている。		
	【思考力・判断力・表現力等】 ・意図する一連の活動を実現するため、動きの組み合わせや意図した活動に近づく改善策を考えている。 ・友達及び関係者の意見や、インターネットから得られた情報をもとに必要な情報を取捨選択し、課題解決に生かしている。		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題点を見つけ、友達と試行錯誤しながら改善しようとし、よりよいものづくりを目指している。 ・学習を通して疑問に思ったことを積極的に調べたり、思いついたアイデアを進んで試そうとしたりしている。		
実施月	8月～11月	総時間数	21時間
内容・活動・★留意点	瞰	(観点) 評価規準【評価方法】 ☆ICT機器の活用 ◎学校・協団との関連	

気づく	<p>○福祉について知る。</p> <p>○福祉が身近な生活とどう関わっているかを考え、友達と話し合う。</p> <p>○福祉の一つであるユニバーサルデザインについて知る。</p> <p>★4年生の学習を振り返らせ、対象者を障害者や高齢者に限定するバリアフリーの考え方とは異なり、全ての人を視野に入れた考え方であることを押さえる。</p> <p>○ユニバーサルデザインが身近な生活とどう関わっているかを考え、友達と話し合う。</p> <p>★生活の場面を具体的に想起できるように例を出しながら考えさせる</p>	2	<p>(知識・技能) 福祉におけるユニバーサルデザインの定義を理解している。 【観察・ワークシート】</p> <p>☆タブレット、大型モニタ</p> <p>(知識・技能) ユニバーサルデザインがあらゆる人にとって快適に暮らせる物であるということが分かる。 【観察・ワークシート】</p> <p>☆タブレット、大型モニタ</p>
つかむ	<p>○自分たちの身近にあるユニバーサルデザインについて調べ、発表し合う。</p> <p>★調べる際には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 ・使用されている場所 ・目的または効果 ・調べて考えたこと ・将来あるといいなと思ったこと <p>を中心にとまとめさせる。</p> <p>○学校にあるビジュアルプログラミングツールの使い方を確認する。</p> <p>★ツールを操作する過程で、使い方や機能を再確認し、ユニバーサルデザインの物と関連づけられるよう言葉かけを行う。</p>	8	<p>(主体的に学習に取り組む態度) 身近にあるユニバーサルデザインについて調べたことを主体的に発表している。 【発表・新聞】</p> <p>☆タブレット、大型モニタ</p> <p>(思考・判断・表現) ビジュアルプログラミングツールを使って、動きの組み合わせや意図した活動に近づく改善策を考えている。 【観察・ワークシート】</p> <p>☆タブレット、大型モニタ、micro:bit、ロボホン、ロボット、ドローン、Ipad</p>

深める	<p>○学校にある物を使って、自分たちでユニバーサルデザインの物を作る計画を立てる。</p> <p>★計画を立てる際は、デザインの発表までに行うことを全て書きだし、実行する順序を考えさせる。</p> <p>★ユニバーサルデザインの定義を改めて確認させ、思考の軸がブレないようにさせる。</p> <p>★初めは、ブレインストーミング法を用いて、難しいと感じた物でもまずは意見を出し、友達と共有し合いながらアイデアをまとめさせる。</p> <p>★実際に今社会で使われている物をさらに改善するアイデアでも、今は存在しないがあると思うアイデアでもよいことを伝える。</p>	2	<p>(知識・技能)</p> <p>意図や目的を明確にしながらいデザインを考え、ものづくりの計画を立てている。</p> <p>【観察・発表・ワークシート】</p>
	<p>○ビジュアルプログラミングツールを活用し、ユニバーサルデザインの視点に立ったものづくりを行う。</p> <p>★グループで目的に合った機器を選ばせ、試行錯誤を繰り返しながら、意図した動きに近づけさせていく。</p> <p>○埼玉県ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの方にゲストティーチャーとして来ていただき、作成しているデザインについてアドバイスをいただく。</p>	4	<p>(思考・判断・表現)</p> <p>意図する一連の活動を実現するため、動きの組み合わせや意図した活動に近づく改善策を考えている。</p> <p>【観察・作品・ワークシート】</p> <p>☆タブレット、micro:bit、ロボホン、ロボット、ドローン、Ipad</p>
	<p>○中間プレゼンを行い、互いに改善点を伝え合いながらよりよいものづくりを目指す。</p> <p>★工夫した点や相談したい点を初めに伝えてからデザインを紹介させる。</p>	3	<p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>互いのデザインのよさと共に改善点を見つけて伝え合い、友達と試行錯誤しながら改善しようとしている。</p> <p>【観察・作品・発表】</p> <p>☆タブレット、micro:bit、ロボホン、ロボット、ドローン、Ipad</p>

広げる	<p>○完成したユニバーサルデザインについてプレゼンし合う。</p> <p>★自分たちのデザインについて、どのような思いをもって作り上げたのか、どのような効果があるのかについて伝えさせる。</p> <p>★友達のアイディアの工夫やよさを見つけさせる。</p> <p>★お互いのデザインのよさを見つけ、ユニバーサルデザインの理念を再確認させる。</p> <p>○活動を振り返り、ユニバーサルデザインを通してよりよい社会を築いていくために試行錯誤しながら活動してきたことを振り返り、さらにどのような行動をすれば社会貢献に繋がっていくのかを考える。</p> <p>★本単元のユニバーサルデザインの学習を通して、自己の生き方や社会との関わり方について振り返ることができるように支援する。</p>	2	<p>(知識・技能)</p> <p>ユニバーサルデザインがあらゆる人にとって快適に暮らせる物であるということが分かる。</p> <p>【観察・発表・ワークシート】</p> <p>☆タブレット、micro:bit、ロボホン、ロボット、ドローン、Ipad</p>
-----	---	---	---

単元・題材・資料名	ともに生きる～私たちがつくる未来～		
目標・ねらい	(知識・技能)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在社会が抱えている様々な問題に気付き、自分たちも社会の一員として、それらの問題に向き合っていく必要があることを理解する。 ・身近な生活の中で、プログラミングが活用されている場面やコンピュータが世の中の役に立っている場面に気付く。 		
	(思考・判断・表現)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・みんながよりよい生活を送るための課題について考え、その解決に向けて方法を考えたり、追求したりすることができる。 		
	(学びに向かう姿勢・人間性)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的に考えたり、試行錯誤を繰り返したりしながら、よりよい方法を探求しようとする。 		
実施月	11月～3月	総時間数	25時間
内容・活動・★留意点		時数	(観点) 評価規準【評価方法】 ☆ICT機器の活用 ◎学校応援団との関連
気づく	<p>○国語の学習を想起させ、人々が安心・安全に生活できる未来について考える。</p> <p>★他教科の学習、新聞やニュースなどを関連させながら、安全・福祉・流通・医療・災害・農業など、様々な視点から未来の社会について考えさせる。</p>	1	

つかむ	<p>○出てきたものの中から、自分が興味関心をもったものを課題としていく。</p> <p>○出てきた課題を分類して、グループを決め活動計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めた課題について、現状や原因、今行われている対策などについて調べる。 ・時間数、調べる方法、まとめ方など、大まかな計画を立てる。 <p>★課題が異なっても、解決方法が重なる場合がある。そのときは、同じグループにすることも可能である。</p>	3	<p>(思考・判断・表現)</p> <p>これまでの学習や経験から、よりよい生活を送るための課題を見出している。 【発言・ワークシート】</p>
	深める	<p>○未来のまちづくりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り上げた問題を解決、改善するために、自分たちにできることを考える。 <p>★コンピュータを活用した解決方法を中心に考えるが、コンピュータが適さない場合には、ほかの方法を取り入れていくようにする。</p>	3
<p><ここから3学期></p> <p>○自分たちが考えた解決方法を具現化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが想定した場面で、ロボットやドローンに意図した動きをさせるためのプログラムを考える。 <p>★グループで目的に合った機器を選ばせ、試行錯誤を繰り返しながら、意図した動きに近づけさせていく。</p>		1 1	<p>(思考・判断・表現)</p> <p>目的や意図に対して、プログラムが適切かどうかを判断し、問題がある場合には、その原因や理由を分析し、根拠を明確にしながら改善している。 【プログラムデータ・ワークシート 観察】</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>課題解決のために、多面的にものごとを捉え、試行錯誤を繰り返しながら、よりよい方法を探求しようとしている。 【プログラムデータ・ワークシート・観察】</p> <p>☆動かしてみよう・マイクロビット・ドローン</p>
<p>○情報モラルについて学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「著作権について」 <p>K-12 著作権を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットトラブル（詐欺など）」 <p>B-22 グループトークでいじめ</p>		2	<p>(知識・技能)</p> <p>情報には自他の権利があることを理解し、尊重すると共に、他人や社会への影響を考え行動しようとしている。 【ワークシート・発言】</p> <p>情報の正確さを判断する方法を知り、不適切な情報等について対応しようとしている。 【ワークシート・発言】</p>

広げる	○発表会を開き、それぞれのグループのよさについて考える。 ★どのような未来をつくりたいと考えたのかを、実際にロボットやドローンを動かしながら発表させる。	2	(主体的に学習に取り組む態度) 友達の考えを聞いて、課題解決のために、より多面的にものごとを捉えて考えている。 【ワークシート・発言】
	○発表会をもとに、よりよい未来をつくっていくための、さらなる可能性について考える。	3	(知識・技能) 現在社会が抱えている様々な問題に気づき、自分たちも社会の一員として、それらの問題に向き合っていく必要があることを理解している。 【ワークシート・発言】